Panasonic®

# IOPM40
# PC接続マニュアル

IOPM40　PC接続マニュアル
FAF−0004 ’93・8月

松下電工

# はじめに

このたびは、IOPM40 , DS-Tool(M40-SUH)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

DS-Tool(M40-SUH)は、IOPM40のシステムプログラムと接続する各ホストコントローラ(PCなど)のインターフェイスプログラムをIOPM40にダウンロードします。

このマニュアルでは、各社PCと接続するための設定内容などが記載されています。その他の関連マニュアルと合わせてお読みいただくことにより、本ソフトウエア並びにIOPM40シリーズを正しくご使用くださるようお願いいたします。

## 保証について

(保証期間)

この製品についての保証期間は、納入後1ヵ年とします。

(保証範囲)

保証期間中に納入側の責任により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を納入業者側により無償でおこないます。

ただし、次に該当する場合は、この保証の内容の対象範囲から除外させて頂きます。

(1) マニュアルと異なった取扱い、ならびに使用による場合。
(2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
(3) 納入者以外の改造、または修理による場合。
(4) その他、天災、災害などで、納入者側の責任にあらざる場合。

なお、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦頂きます。

(サービスの範囲)

納入品の価格には、技術者派遣等のサービス費用は含んでおりませんので、次の場合、別途費用を申しつけます。

(1) 取り付け調整指導および試運転の立ち会い
(2) 保守点検、調整および修理
(3) 技術指導および技術教育

NECA0501(契約基準)より

<ご注意>

本製品が外国為替及び外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当する場合には、日本国外に輸出する際に日本国政府の輸出許可が必要です。

# もくじ



### <記号の意味>

本書で使用している記号の意味を示します。

注意　注意事項や制約事項です。安全に正しくご使用いただくために必ず守ってください。

メモ　参考事項です。補足説明や知っていると便利な情報が載せてあります。

*　特に説明が必要な語句についています。

☞　*のついた語句の説明をしています。また、関連事項の参照ページを示します。

# 第1章 接続可能なPC

各PCに対応する通信プロトコルプログラムの一覧を示します。

## 1. 各PCに対応した通信プロトコルを選択する

接続したいPCに対応する通信プロトコルプログラムをダウンロードしてください。接続PCと通信プロトコルプログラムが一致していないと正常に通信できません。ダウンロード方法は「IOPM40セットアップマニュアル」をご参照ください。

| | シリーズ名 | 対象システム | リンクユニット | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|
| 松下電工 | MEWNET FPシリーズ | FP3 | CCU-AFP3462 | Ver4.4以降のCPUでは直接接続できます。 |
| | | FP5 | CCU-AFP5462 | |
| | | FP-C | —— | |
| | | FP10S | CCU-AFP3462 | CPUにダイレクトに接続可能 |
| | | FP10 | CCU-AFP5462 | |
| | | FP-M | 不　要 | NPST-GRにてコンピュータリンクを設定 |
| | | FP-1-C (RS232C付) | 不　要 | |
| 汎用 | RS232Cを有する汎用機 | | RS232Cにて汎用通信 | |
| 日立製作所 | HIDIC H (HIZAC H) | H20, H28, H40, H64 H-200, H-300, H700 H-2000 | CPU直結 | 従来のHIZAC Hシリーズです。 |
| | | H-300, H700, H-2000 | COMM-H COMM-2H | |
| | HIDIC S10α | S10/2α | CPU直結 | |
| | | S10/2αE | | |
| | | S10/4α, S10/4αF | LWE805 | |
| 三菱 | MELSEC-AnN | A1N, A2N, A3N | AJ71C24 AJ71C24-S3 AJ71C24-S6 AJ71C24-S8 | |
| | | A0J2, A0J2H | A0J2-C214-S1 | |
| | | A1S | A1SJ71C24 | |
| | MELSEC-AnA | A2A, A3A | AJ71C24-S6 AJ71C24-S8 | |
| オムロン | SYSMAC-C | C500, C500F, C1000H, C1000HF, C2000, C2000H | C500-LK201-V1 C500-LK203 | C1000HFでは、C500-LK203のみ使用できます。 |
| | | C200H | C 200H-LK201 | RS-232Cで接続する場合は、C 200H-LK201を使用します。 |
| | | C20H, C28H, C40H | CPU直結 | |
| | | C120, C120F, C200H, C500,C500F,C1000H, C2000, C2000H | C120-LK201-V | RS-232Cで接続する場合は、C120-LK201-V1を使用します。 |
| | SYSMAC-CV | CV500, CV1000 CVM1 | CPU直結 | |

# 第2章 各社PCとの接続

本機との接続に必要な項目(システム構成、結線図、使用可能デバイスなど)を、PCメーカーごとに示します。

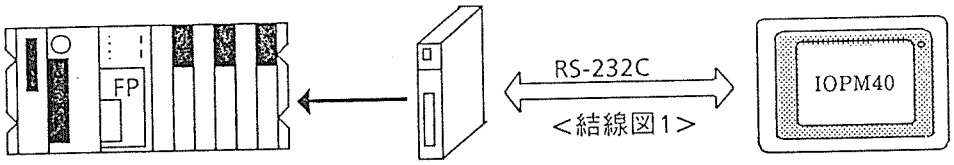
## 1. 松下電工(株)製 MEWNET　FPシリーズ

### システム構成

松下電工㈱製MEWNET:FPシリーズとIOPM40を接続する場合のシステム構成を示します。

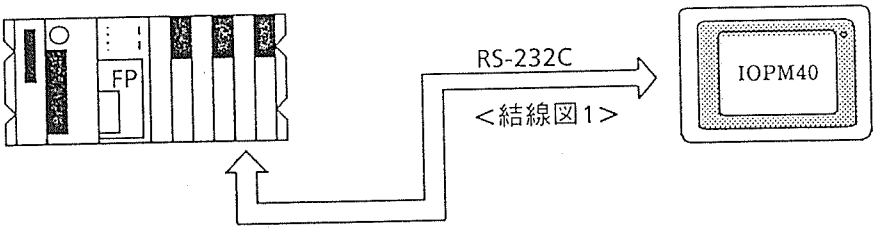
#### MEWNET-FP シリーズ

① FP3,FP5,FP10S,FP10で、CCUユニットで接続時

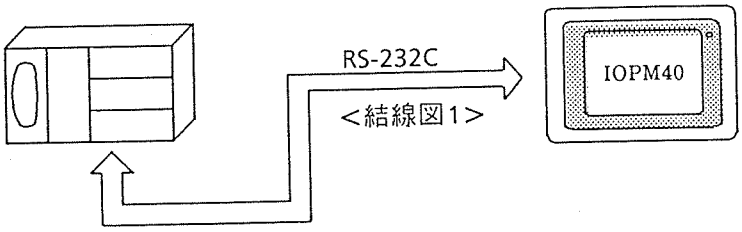



コンピュータコミュニケーションユニット(C.C.U)
AFP3462(FP3の場合)
AFP5462(FP5の場合)

② FP10S,FP10のCOM. (RS232C)で接続時

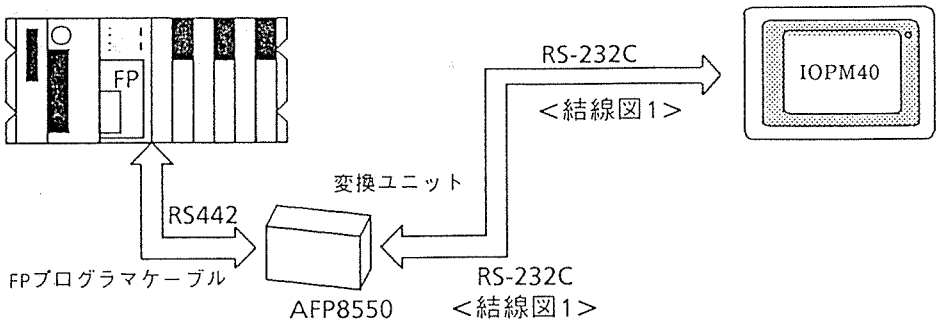



③ FP1,FP-MのRS232Cポート接続時



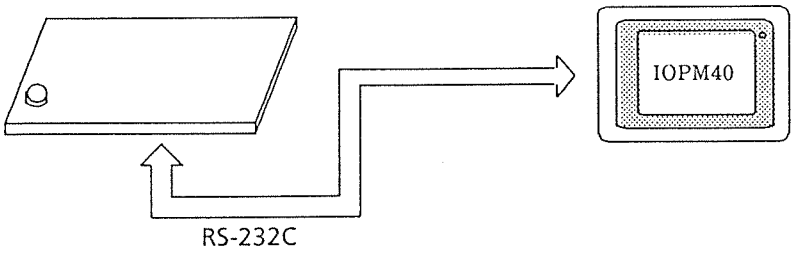

※ NPST-GRにて、RS232Cポートをコンピュータリンク設定を行ってください。

④ FPシリーズのプログラムポート(Tool)接続時(FP10,FP10S,FP5,FP3,FP1)




※ AFP8550は、クロスケーブル設定を行ってください。
FP3,FP5のCPUは、Ver4.4以降の対応となります。

⑤ FP-M,FP-Cのプログラムポート接続時

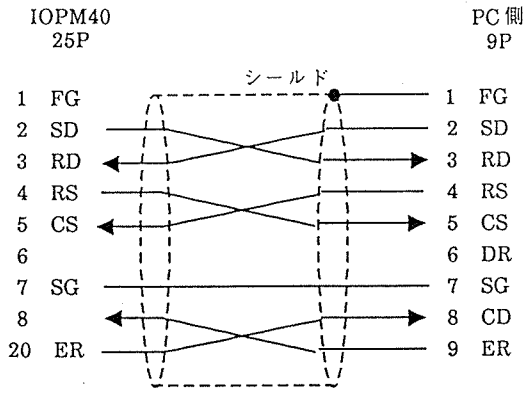



※ RS232Cケーブルは、専用ケーブル:AFC8513を使用ください。
FP-CのCPUはVer 4.4以降の対応となります。

## 結線図

<結線図1> RS232Cケーブルは、AFB85813(3m)を用意いたしております。

▸ RS-232C




注意 ● FGの接続は、設置環境によってPC側、IOPM40側のどちらかを選択してください。

## 使用可能デバイス

IOPM40でサポートしているデバイスの範囲を示します。

### MEWNET : FPシリーズ

| デバイス＼PC | | FP10 | FP10S | FP5 | FP3 | FP-C |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ビットデバイス | 入力リレー | X0000 - X225F | | X0000 - X127F | | |
| | 出力リレー | Y0000 - Y225F | | Y0000 - Y127F | | |
| | 内部リレー | R0000 - R875F | | R0000 - R 97F | | |
| | リンクリレー | L0000 - L639F | | L0000 - L127F | | |
| | 特殊リレー | R0000 - R910F | | R9000 - R910F | | |
| | タイマ：接点 | T0000 - T2047 | | T 000 - T 255 | | |
| | カウンタ：接点 | C0000 - C2047 | | C 000 - C 255 | | |
| ワードデバイス | 入力リレー | WX 000 -WX 255 | | WX 000 -WX 127 | | |
| | 出力リレー | WY 000 -WY 255 | | WY 000 -WY 127 | | |
| | 内部リレー | WR 000 -WR 875 | | WR 000 -WR 97 | | |
| | リンクリレー | WL 00 -WL 639 | | WL 000 -WL 127 | | |
| | 特殊リレー | WR 900 -WR 910 | | WR 900 -WR 910 | | |
| | リンクレジスタ | LD0000 - LD8447 | | LD 000 - LD 255 | | |
| | データレジスタ | DT00000 - DT10239 | | DT0000 - DT2047 | | |
| | ファイルレジスタ | FL00000 - FL32764 | | FL00000 - FL22524 | | |
| | タイマ/カウンタ：経過値 | SV0000 - SV2047 | | SV 000 - SV 255 | | |
| | タイマ/カウンタ：設定値 | EV0000 - EV2047 | | EV 000 - EV 255 | | |

| デバイス＼PC | | FP1 14/16 | FP1 24/40 | FP1 56/72 | FP-M |
|---|---|---|---|---|---|
| ビットデバイス | 入力リレー | X 000 - X 12F | | | |
| | 出力リレー | Y 000 - Y 12F | | | |
| | 内部リレー | R000 - R 15F | R 0000 - R 62F | | |
| | 特殊リレー | R 9000 - R 903F | | | |
| | タイマ：接点 | T000 - T 127 | T 000 - T 143 | | |
| | カウンタ：接点 | C000 - C 127 | C 000 - C 143 | | |
| ワードデバイス | 入力リレー | WX 000 - WX 12 | | | |
| | 出力リレー | WY 000 - WY 12 | | | |
| | 内部リレー | WR00 - WR 15 | WR 00 - WR 62 | | |
| | 特殊リレー | WR 900 - WR 903 | | | |
| | データレジスタ | DT000 - DT 255 | DT 0000 - DT 1659 | | DT 0000 - DT 6143 |
| | タイマ/カウンタ：経過値 | EV000 - EV 127 | EV 000 - EV 143 | | |
| | タイマ/カウンタ：設定値 | SV000 - SV 127 | SV 000 - SV 143 | | |

注意

- システム エリアは、データレジスタ に割り付けることができます。
  (ただしシステムエリアの設定はPCにかかわらずMax 2032です)
- 2ワードを使用する場合のアドレスの上下関係は、次のとおりです。

| | |
|---|---|
| 0 | L(下位) |
| 1 | H(上位) |

- 次にあげるワードデバイスは、ビット指定もできます。
  ・リンクレジスタ　・データレジスタ　・ファイルレジスタ

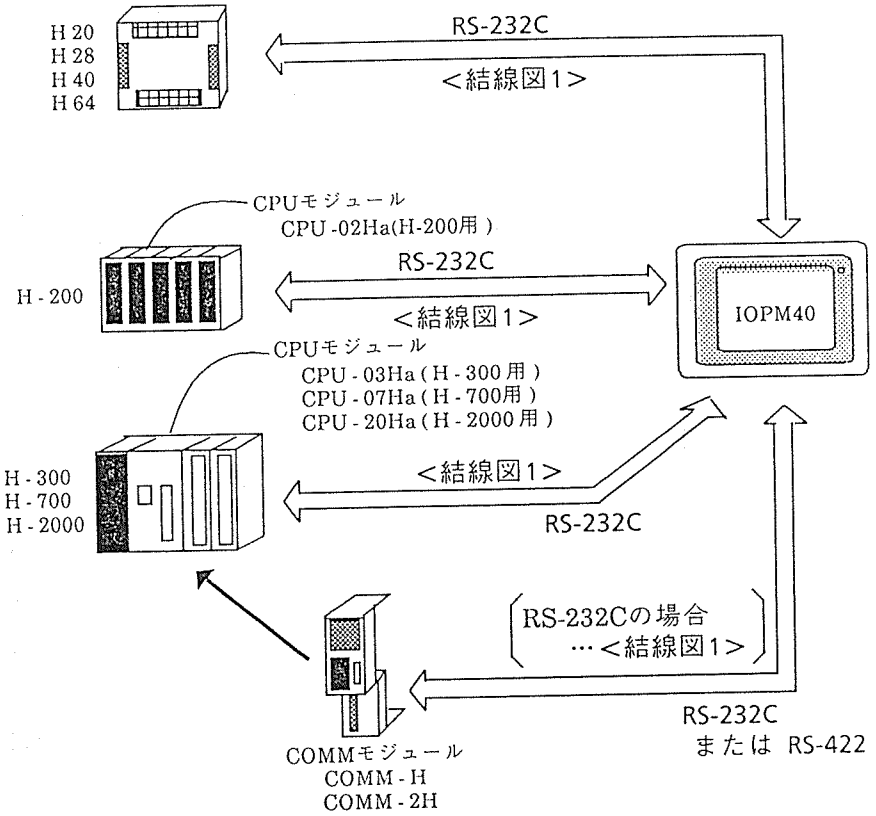
ビット指定する場合は、ワードデバイスの後にビット位置をつけます。
<例>データレジスタDT0100の02ビットを指定する場合
「DT0100 02」
ワードデバイス　ビット位置

# 2. (株)日立製作所製 PC

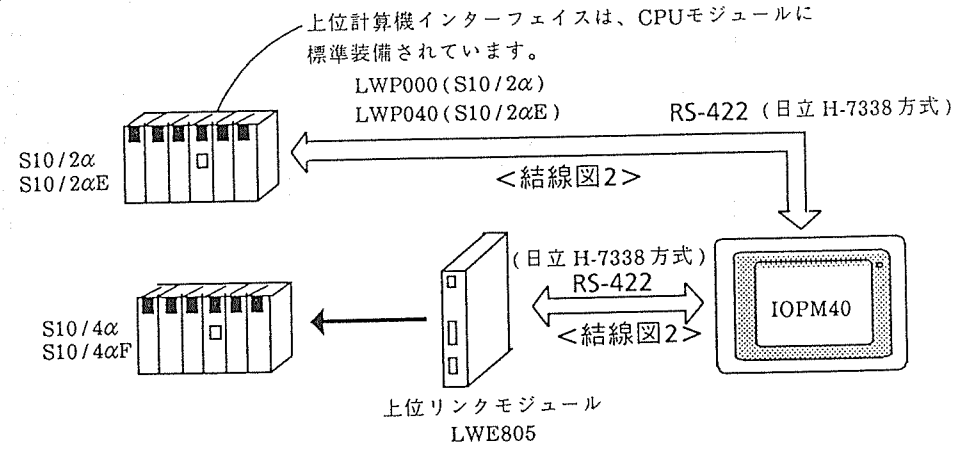
## システム構成

(株)日立製作所 製PCとIOPM40を接続する場合のシステム構成を示します。
なお、<結線図1~3>は、次項「結線図」に示してあります。

### HIDIC Hシリーズ




### HIDIC S10α シリーズ



## 使用可能デバイス

IOPM40でサポートしているデバイスの範囲を示します。

### HIDIC H(HIZAC H)シリーズ

| デバイス | | アドレス |
|---|---|---|
| ビットデバイス | 外部入力 | X00000~X05A95 *1 |
| | 外部出力 | Y00000~Y05A95 *1 |
| | リモート入力リレー | X10000~X49995 |
| | リモート出力リレー | Y10000~Y49995 |
| | 内部出力 | R000~R7BF |
| | 第1CPUリンク | L0000~L3FFF |
| | 第2CPUリンク | L10000~L13FFF |
| | データエリア | M0000~M3FFF |
| | オンディレータイマ | TD000~TD255 |
| | シングルショットタイマ | SS000~SS255 |
| | ウォッチドッグタイマ | WDT000~WDT255 |
| | モノステーブルタイマ | MS000~MS255 |
| | 積算タイマ | TMR000~TMR255 |
| | アップカウンタ | CU000~CU511 |
| | リングカウンタ | RCU000~RCU511 |
| | アップダウンカウンタ | CT000~CT511 |
| ワードデバイス | 外部入力 | WX0000~WX05A7 *2 |
| | 外部出力 | WY0000~WY05A7 *2 |
| | リモート入力リレー | WX1000~WX4997 |
| | リモート出力リレー | WY1000~WY4997 |
| | ワード内部出力 | WR0000~WRC3FF |
| | 第1CPUリンク | WL000~WL3FF |
| | 第2CPUリンク | WL1000~WL13FF |
| | データエリア | WM000~WM3FF |
| | タイマ･カウンタ経過値 | TC000~TC511 |

- システム エリアは、ワード内部出力に割り付けることができます。
- 2ワードを使用する場合のアドレスの上下関係は、次のとおりです。

| | |
|---|---|
| 0 | L(下位) |
| 1 | H(上位) |

- ビット指定する場合は、ワードデバイスの後にビット位置をつけます。

<例>LSエリア LS0100の02ビットを指定する場合

「LS0100 02」

ワードデバイス　ビット位置

*1 次のように記述します。

<例> 外部入力ユニットNo.1、スロットNo.2、モジュール内ビットNo.34の場合

X 0 1 2 3 4

- 4：モジュール内ビットNo.
- 2：スロットNo.
- 1：ユニット No.

*2 次のように記述します。

<例> 外部入力ユニットNo.1、スロットNo.2、モジュール内ワードNo.3の場合

W X 0 1 2 3

- 3：モジュール内ワードNo.
- 2：スロットNo.
- 1：ユニット No.

## 使用可能デバイス

IOPM40でサポートしているデバイスの範囲を示します。

### HIDIC S10α シリーズ

| デバイス | | アドレス |
|---|---|---|
| ビットデバイス | 入力リレー | X000~X7FF |
| | 出力リレー | Y000~Y7FF |
| | 内部リレー | R000~R7FF |
| | グローバルリンク | G000~GFFF |
| | イベント | E000~E0FF |
| | キープリレー | K000~K1FF *1 |
| | オンディレータイマ | T000~T1FF *1 |
| | ワンショットタイマ | U000~U07F *1 |
| | アップダウンカウンタ | C000~C03F *2 |
| ワードデバイス | 入力リレー | XW000~XW7F0 *2 |
| | 出力リレー | YW000~YW7F0 *2 |
| | 内部リレー | RW000~RW7F0 *2 |
| | グローバルリンク | GW000~GWFF0 *2 |
| | Eワード | EW400~EWFF0 |
| | イベント | EW000~EW0F0 |
| | キープリレー | KW000~KW1F0 *1 |
| | オンディレータイマ | TW000~TW1F0 *1 |
| | ワンショットタイマ | UW000~UW070 *1 |
| | アップダウンカウンタ | CW000~CW030 *2 |
| | オンディレータイマ(設定値) | TS000~TS1FF |
| | オンディレータイマ(計数値) | TC000~TC1FF |
| | ワンショットタイマ(設定値) | US000~US07F |
| | ワンショットタイマ(計数値) | UC000~UC07F |
| | アップダウンカウンタ(設定値) | CS000~CS03F |
| | アップダウンカウンタ(計数値) | CC000~CC03F |
| | ワークレジスタ | FW000~FWBFF |
| | データレジスタ | DW000~DWFFF |
| | 拡張レジスタ | MS000~MSFFF *3 |

注意

- システムエリアは、データレジスタに割り付けることができます。
- 2ワードを使用する場合のアドレスの上下関係は、次のとおりです。

| | |
|---|---|
| 0 | H(上位) |
| 1 | L(下位) |

- 次にあげるワードデバイスは、ビット指定もできます。
  - ワークレジスタ
  - データレジスタ
  - 拡張レジスタ
  - LSエリア(データレジスタ内)

  ビット指定する場合は、ワードデバイスの後にビット位置をつけます。

  <例>ワークレジスタFW010の02ビットを指定する場合

  「FW010 02」

  ワードデバイス　ビット位置

*1 接点です。

*2 表に示した範囲の16で割り切れる値のみです。

*3 拡張メモリ内の4Kワードがアクセス可能です。アクセスする拡張メモリのトップアドレスは、初期設定の「動作環境の設定」で設定します。

<アクセスする拡張メモリのアドレス>

アクセスするアドレス＝トップアドレス＋デバイスアドレス

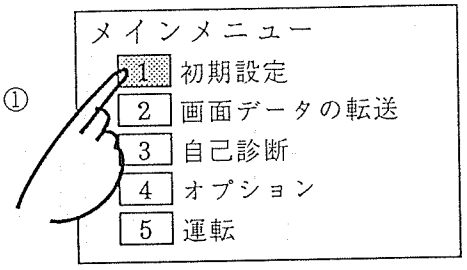
(例)

トップアドレス＝180000
デバイス：MS 1FF
} の場合

180000＋1FF＝1801FF

<拡張メモリのトップアドレスの設定方法>

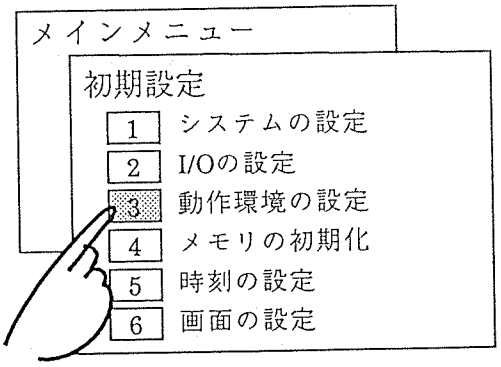
①




① 「初期設定」の項目番号 1 をタッチします。

「初期設定」の画面が表示されます。

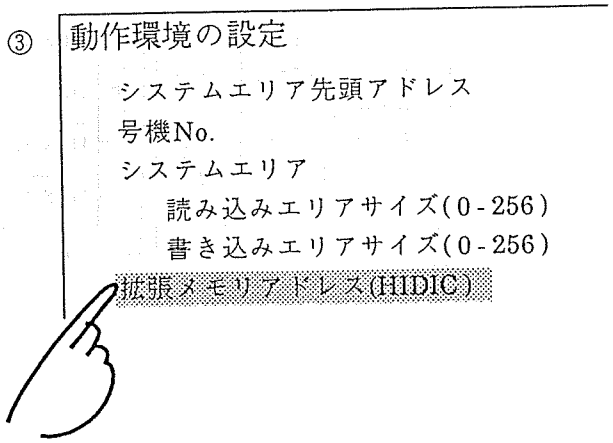
②




② 「動作環境の設定」の項目番号 3 をタッチします。

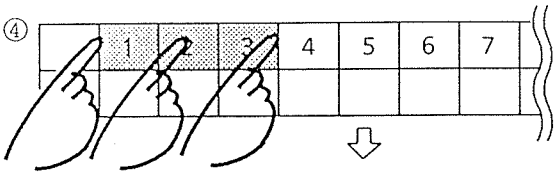
「動作環境の設定」の画面が表示されます。

③




③ 設定したいメニューをタッチします。

選択されたメニューは反転表示されます。




④ 画面下部のタッチキーで数値を設定します。

注意

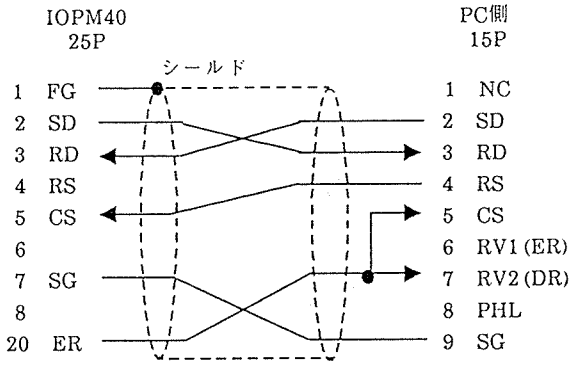
- 入力する範囲は100000h～1FF000hです。拡張メモリを使用したいときは「0」にしておいてください。

## 結線図

以下に示す結線図とPCメーカの推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す接続図でも動作上問題はありません。

＜結線図1＞

▸ RS-232C

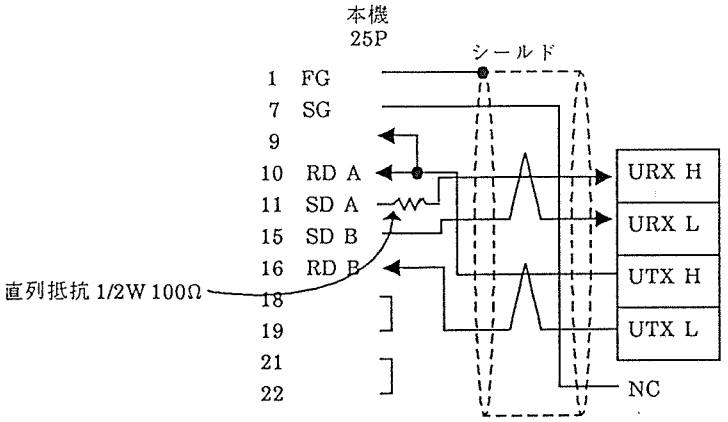



メモ

- PCメーカの周辺機器用ケーブルGPCB0511が、使用できます。

＜結線図2＞

▸ RS-422

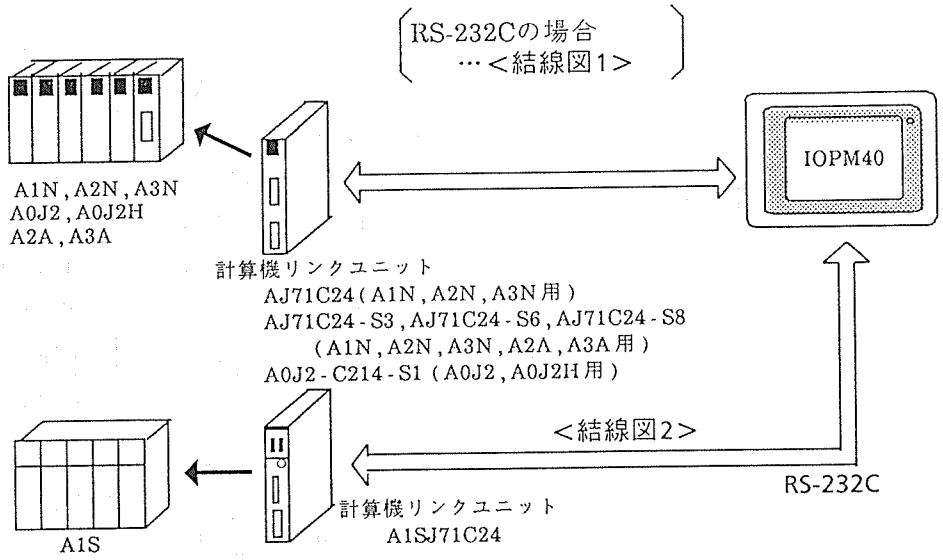


# 3. 三菱電機(株) 製 PC

## システム構成

三菱電機(株) 製PCと本機を接続する場合のシステム構成を示します。
なお、<結線図1~2>は、次項「結線図」に示してあります。

### MELSEC - AnN / AnAシリーズ

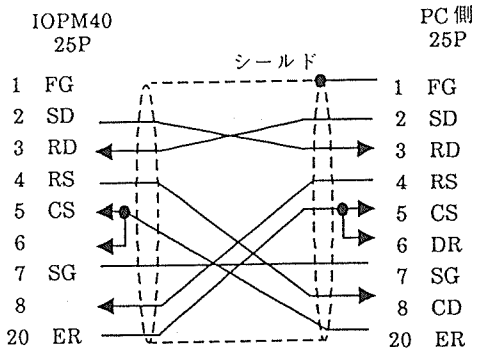



## 結線図

以下に示す結線図とPCメーカーの推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す接続図でも動作上問題はありません。

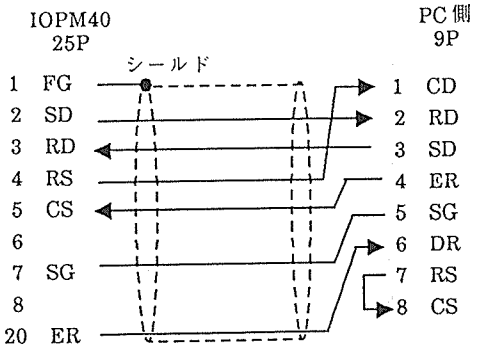
### <結線図1>

▸ RS-232C




### <結線図2>

▸ RS-232C




注意

- FGの接続は、設置環境によってPC側、IOPM40側のどちらかを選択してください。

## 使用可能デバイス

IOPM40でサポートしているデバイスの範囲を示します。

### MELSEC - AnN / AnAシリーズ

| デバイス | | アドレス | |
|---|---|---|---|
| | | MELSEC - AnN | MELSEC - AnA |
| ビットデバイス | 入力リレー | X0000 ~ X07FF | |
| | 出力リレー | Y0000 ~ Y07FF | |
| | 内部リレー | M0000 ~ M2047 | M0000 ~ M8191 |
| | 保持リレー | L0000 ~ L2047 | L0000 ~ L8191 |
| | リンクリレー | B0000 ~ B03FF | B0000 ~ B0FFF |
| | タイマ(接点) | TS000 ~ TS255 | TS0000 ~ TS2047 |
| | タイマ(コイル) | TC000 ~ TC255 | TC0000 ~ TC2047 |
| | カウンタ(接点) | CS000 ~ CS255 | CS0000 ~ CS1023 |
| | カウンタ(コイル) | CC000 ~ CC255 | CC0000 ~ CC1023 |
| ワードデバイス | 入力リレー | X0000 ~ X07F0 *1 | |
| | 出力リレー | Y0000 ~ Y07F0 *1 | |
| | 内部リレー | M0000 ~ M2032 | M0000 ~ M8176 *1 |
| | データレジスタ | D0000 ~ D1023 | D0000 ~ D6143 |
| | リンクレジスタ | W0000 ~ W03FF | W0000 ~ W0FFF |
| | ファイルレジスタ | R0000 ~ R8191 | |
| | 拡張ファイルレジスタ | 0R0000 ~ 28R8191 | |
| | タイマ(現在値) | TN000 ~ TN255 | TN0000 ~ TN2047 |
| | カウンタ(現在値) | CN000 ~ CN255 | CN0000 ~ CN1023 |

注意

- システムエリアは、データレジスタに割り付けることができます。
- 2ワードを使用する場合のアドレスの上下関係は、次のとおりです。

| | |
|---|---|
| 0 | L(下位) |
| 1 | H(上位) |

- 次にあげるワードデバイスは、ビット指定もできます。
  - データレジスタ
  - リンクレジスタ
  - ファイルレジスタ
  - 拡張ファイルレジスタ
  - LSエリア(データレジスタ内)

  ビット指定する場合は、ワードデバイスの後にビット位置をつけます。

  <例>データレジスタD0100の02ビットを指定する場合

  「D0100 02」

  ワードデバイス　ビット位置

*1 表に示した範囲の16で割り切れる値のみです。

## 環境設定

PCメーカーが推奨するPC側の通信設定と、それに対応するIOPM40側の通信設定を示します。

### MELSEC - AnN / AnA シリーズ

<計算機リンクユニットの通信設定>

| | |
|---|---|
| チャンネル設定 | RS-232C または RS-422 |
| 伝送速度設定 | 19200 bps |
| データビット設定 | 7 bit |
| パリティの有無設定 | あり |
| 偶数 / 奇数パリティの設定 | 偶数 |
| ストップビット設定 | 2 bit |
| サムチェックの有無設定 | あり |
| RUN中書き込み可・否設定 | 可能 |
| 送信側終端抵抗有無設定 | あり |
| 受信側終端抵抗有無設定 | あり |
| 局番設定 | 00 |
| モード設定 (RS-232C選択時) | 4 ( 形式4のプロトコルモード ) |
| モード設定 (RS-422選択時) | 8 ( 形式8のプロトコルモード ) |

<IOPM40のSIO設定>

| | |
|---|---|
| 伝送速度 | 19200 bps |
| データ長 | 7 bit |
| ストップビット | 2 bit |
| パリティビット | 偶数 |
| 制御方式 | ER制御 |
| RS422配線方式 (RS-422選択時) | 4線式 |

<プロコン直結時のIOPM40のSIO設定>

| | | |
|---|---|---|
| 伝送速度 | 9600 bps | |
| データ長 | 8 bit | |
| ストップビット | 1 bit | |
| パリティビット | 奇数 | |
| 制御方式 | ER制御 | 特に設定の必要はありません。 |
| RS422配線方式 (RS-422選択時) | 4線式 | |

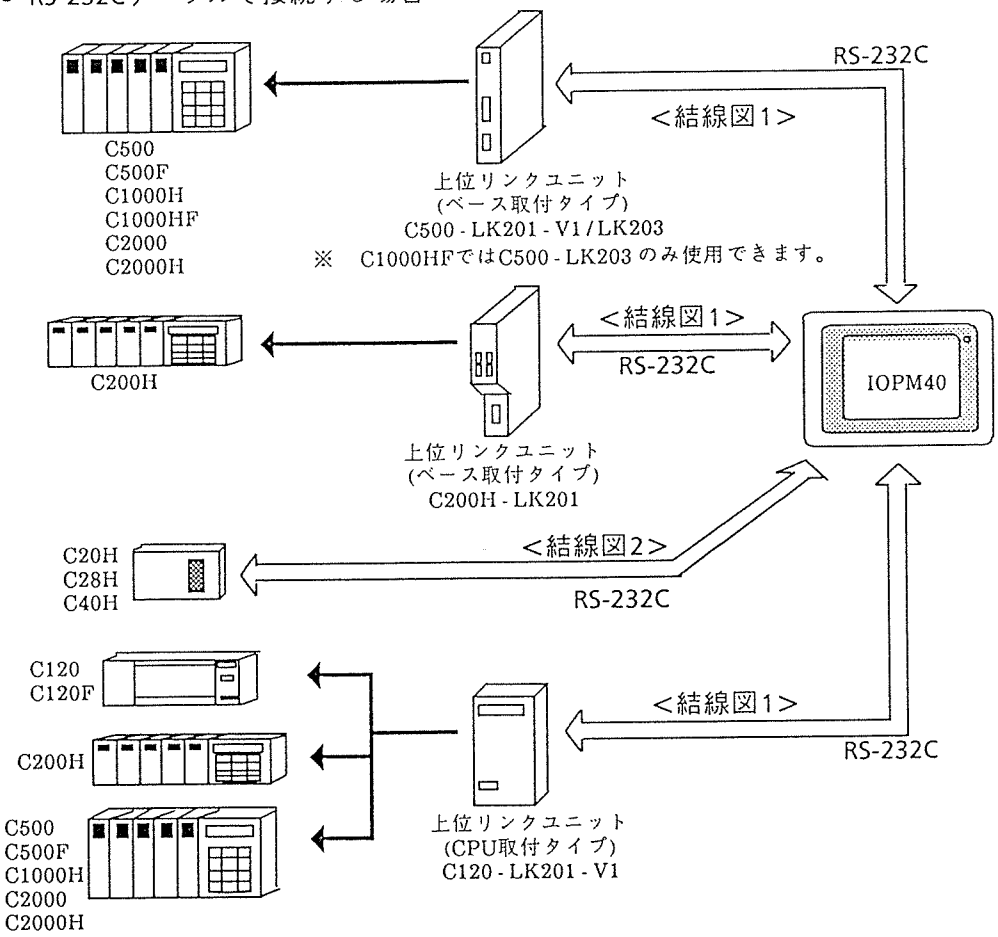
# 4. オムロン(株)製PC

## システム構成

オムロン(株)製PCと本機を接続する場合のシステム構成を示します。
なお、<結線図1~3>は、次項「結線図」に示してあります。

### SYSMAC-Cシリーズ

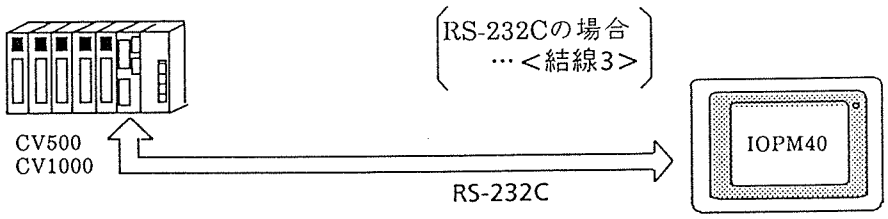
● RS-232Cケーブルで接続する場合




メモ

- 通信を高速に行いたい場合には、上位リンクユニット(CPU取付タイプ)C120-LK201-V1のご使用をおすすめします。

### SYSMAC-CVシリーズ

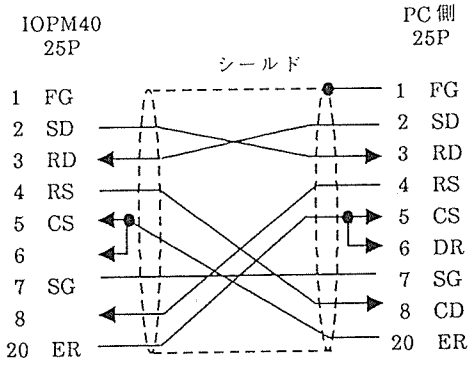


## 結線図

以下に示す結線図とPCメーカの推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す結線図でも動作上問題はありません。

＜結線図1＞

▸ RS-232C

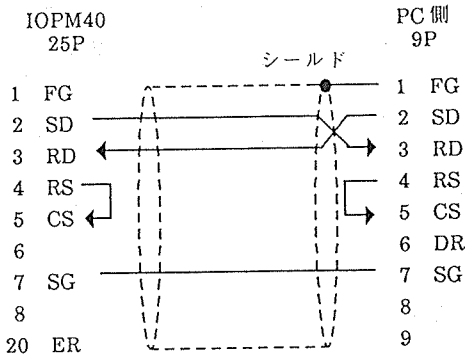



注意

- FGの接続は、設置環境によってPC側、IOPM40側のどちらかを選択してください。

＜結線図2＞

▸ RS-232C

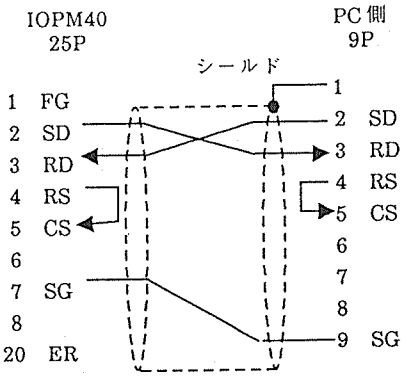



注意

- PC本体のFG端子は第3種接地を行ってください。詳細は、PCのマニュアルをご参照ください。

＜結線図3＞

▸ RS-232C




注意

- PC本体のFG端子は第3種接地を行ってください。詳細は、PCのマニュアルをご参照ください。

## 使用可能デバイス

IOPM40でサポートしているデバイスの範囲を示します。

### SYSMAC-C/CVシリーズ

| デバイス | | アドレス | |
|---|---|---|---|
| | | SYSMAC-Cシリーズ | SYSMAC-CVシリーズ |
| ビットデバイス | 入出力リレー<br>内部補助リレー | 00000~25515 | 000000~019915 |
| | SYSMAC BUS/2<br>リモートI/Oリレー | ―― | 020000 ~ 099915 |
| | データリンクリレー | LR0000 ~ LR6315 | 100000 ~ 119915 |
| | 保持リレー | HR0000 ~ HR9915 | 120000 ~ 149915 |
| | CPU高機能<br>ユニットエリア | ―― | 150000 ~ 189915 |
| | 内部補助リレー | ―― | 190000 ~ 229915 |
| | SYSBUS<br>リモートI/Oリレー | ―― | 230000 ~ 255515 |
| | タイマ(接点) | TIM000 ~ TIM511 | T0000 ~ T1023 |
| | カウンタ(接点) | CNT000 ~ CNT511 | C0000 ~ C1023 |
| ワードデバイス | 入出力リレー<br>内部補助リレー | 000~255 | 0000~0199 |
| | SYSMAC BUS/2<br>リモートI/Oリレー | ―― | 0200 ~ 0999 |
| | データリンクリレー | ―― | 1000 ~ 1199 |
| | 保持リレー | ―― | 1200 ~ 1499 |
| | CPU高機能<br>ユニットエリア | ―― | 1500 ~ 1899 |
| | 内部補助リレー | ―― | 1900 ~ 2299 |
| | SYSBUS<br>リモートI/Oリレー | ―― | 2300 ~ 2555 |
| | データメモリ | DM0000 ~ DM9999 | D0000 ~ D9999 |
| | タイマ(現在値) | TIM000 ~ TIM511 | T0000 ~ T1023 |
| | カウンタ(現在値) | CNT000 ~ CNT511 | C0000 ~ C1023 |

注意

- システムエリアは、データメモリに割り付けることができます。
- SYSMAC-CVシリーズでは、ビットデバイスのタイマ・カウンタには書き込みができません。
- 2ワードを使用する場合のアドレスの上下関係は、次のとおりです。

| | |
|---|---|
| 0 | L(下位) |
| 1 | H(上位) |

- 次にあげるワードデバイスは、ビット指定もできます。
  - データメモリ
  - LSエリア(データメモリ内)

  ビット指定する場合は、ワードデバイスの後にビット位置をつけます。
  <例>データメモリDM0100の02ビットを指定する場合
  「DM0100 02」
  ワードデバイス　ビット位置
- SYSMAC-CVシリーズのデータメモリの拡張アドレス(E)は、使用できませんので、ご注意ください。
- ビット書き込みは、ワード単位(チャンネル単位)の書き込みで実現します。したがって、指定ビット以外のビットはすべてクリア(0)されます。

## 環境設定

PCメーカでが推奨するPC側の通信設定と、それに対応するIOPM40側の通信設定を示します。ここでは、RS-232Cケーブルで接続する場合の推奨設定を示しています。

### SYSMAC-Cシリーズ

<上位リンクユニットの通信設定>

| | |
|---|---|
| 伝送速度設定 | 19200 bps |
| データ長 | 7 bit |
| ストップビット | 2 bit |
| パリティビット | 偶数 |
| コマンドレベル | レベル1,2,3が有効 |
| 手順 | 1:N |
| 5V供給 | なし |
| CTS設定 | 常時ON |
| 通信方式 | RS-232C |

<IOPM40のSIO設定>

| | |
|---|---|
| 伝送速度 | 19200 bps |
| データ長 | 7 bit |
| ストップビット | 2 bit |
| パリティビット | 偶数 |
| 制御方式 | DTR制御 |

### SYSMAC-CVシリーズ

<上位リンクユニットの通信設定>

| | |
|---|---|
| 伝送速度設定 | 19200 bps |
| データ長 | 7 bit |
| ストップビット | 2 bit |
| パリティビット | 偶数 |
| 通信方式 | RS-232C |

<IOPM40のSIO設定>

| | |
|---|---|
| 伝送速度 | 19200 bps |
| データ長 | 7 bit |
| ストップビット | 2 bit |
| パリティビット | 偶数 |
| 制御方式 | DTR制御 |

# 第3章 初期設定

## 1. 初期設定について

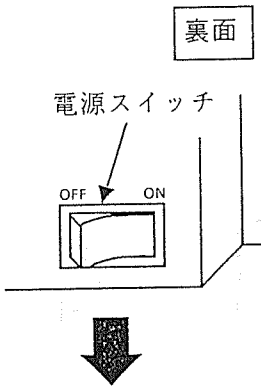
通信ケーブルの接続や通信プロトコルのダウンロードなど、ハードウエアの準備が終わったら、IOPM40の*1初期設定を行います。

*1初期設定とは…
IOPM40が動作したりホストとの通信を行ったりするためには、あらかじめ設定しておかなければならない事柄があります。IOPM40側で、必要事項をあらかじめ設定しておく作業を「初期設定」と呼びます。

メモ
- 初期設定の詳細については、「セットアップマニュアル」をご参照ください。

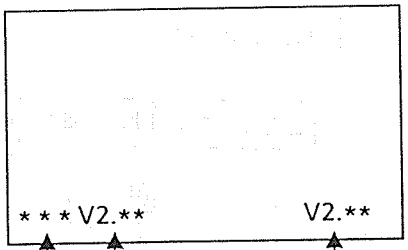
### 初期設定メニュー

①




① IOPM40の電源スイッチをONにします。

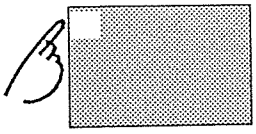
注意
- ON/OFF操作の繰り返しは、IOPM40に負担をかけます。少なくとも2~3秒以上の間隔をあけてONしてください。




画面左下に通信プロトコルとバージョンNo.、画面右下にシステムのバージョンNo.を表示します。

システムのバージョンNo.
バージョンNo.
通信プロトコル

②



ここをタッチ！

② 画面の左上を、電源投入後10秒以内にタッチします。

注意
- メインメニュー画面は一度のタッチで表示されますので、しばらくお待ちください。

メインメニュー

1 初期設定
2 画面データの転送
3 自己診断
4 オプション
5 運転

「メインメニュー」を表示します。

③

メインメニュー

初期設定

1 システムの設定
2 I/Oの設定
3 動作環境の設定
4 メモリの初期化
5 時刻の設定
6 画面の設定

③ メインメニューの「初期設定」の項目番号 1 をタッチします。
「初期設定」メニューを表示します。

注意
- 画面をシャープペンシルなどの先が鋭利なもので押さないでください。
故障の原因となります。

## 1 システムの設定

IOPM40の動作環境を設定します。

システムの設定　設定終了　取り消し

| | |
|---|---|
| スタンバイモード時間の設定（0-255） | [ 0 ] 分 |
| スタートタイムの設定(0-255) | [ 0 ] 秒 |
| タッチブザーの音 | 有　無 |
| パスワードの設定(0-9999) | [ 0 ] |
| 表示画面番号のデータ形式 | BIN　BCD |

## 2 I/Oの設定

SIO(伝送速度,データ長ストップビット、パリティビット、制御方式)と環境(タッチ、強制リセット、輝度)を設定します。

通信の設定　設定終了　取り消し

| | |
|---|---|
| 伝送速度 | 2400 4800 9600 19200 38400 |
| データ長 | 7 8 |
| ストップビット | 1 2 |
| パリティビット | 無 奇数 偶数 |
| 制御方式 | X制御 ER制御 |
| 通信方式 | RS232C 4線式 2線式 |

I/Oの設定　設定終了　取り消し

| | | |
|---|---|---|
| タッチ動作モード | 1点押し | 2点押し |
| 強制リセットの動作 | 有 | 無 |
| 輝度調整の動作 | 有 | 無 |

注意

FPシリーズのプログラマを使用して接続する際は、

19200bps
データ長：8
ストップビット：1
パリティビット：奇数
制御方式：X制御
通信方式：RS232C

を設定してください

## 3 動作環境の設定

IOPM40と通信を行うホストの種類や、PCプログラムレスタイプをご使用の場合の動作環境を設定します。

動作環境の設定　設定終了　取り消し

| | |
|---|---|
| システムエリア先頭アドレス | [DT 0000] |
| 号機No. | [1] |
| システムエリア | |
| 読み込みエリアサイズ(0-256) | [0] |
| 書き込みエリアサイズ(0-256) | [0] |

注意

松下電工製MEWNET FPシリーズとRS232Cで接続する際は必ず

号機No＝1に

設定してください

## 4 メモリの初期化

画面データ、初期設定データがすべて消去され、新たに画面データ、初期設定データを書き込める領域を作ります。
ただし、システムプログラムと通信プロトコル、時刻の設定データは保持されます。

## 5 時刻の設定

IOPM40内部のカレンダー機能を設定します。ファイルの作成、変更した日時の記録などに使用しますので、正確に設定してください。

時刻の設定　設定終了　取り消し

現在の時刻　' 0年 0月 0日 0時 0分
設定時刻　['  ]年[  ]月[  ]日[  ]時[  ]分

## 6 画面の設定

運転モードに入ったとき、最初に表示する画面を設定します。

画面の設定　設定終了　取り消し

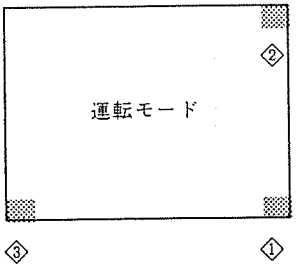
初期画面のファイル番号(1-8999)　[B 1  ]
アラームメッセージのサイズ　縦 1,2,4
横 1,2,4

## I/Oの設定について

I/Oの設定において、「強制リセットの動作」の設定を「有」とした場合、動作状態(運転、オフラインモード)に関係なくタッチ入力により動作起動することができます。

<強制リセット>

①

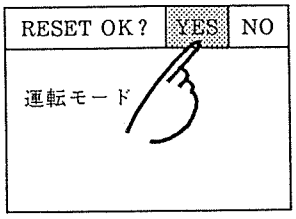



① 画面三隅を右下→右上→左下の順に押します。

- ①を押さえたまま②を押し、そのままの状態で③を押します。
- スタート待ちの時は実行できません。

リセット確認バーが画面上に表示されます。

②



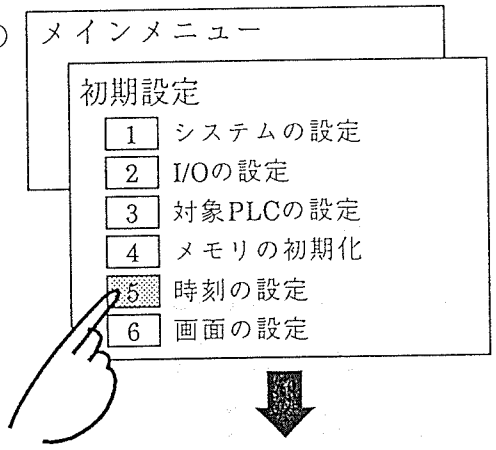

② YES をタッチします。

リセットされます。

## 時刻(時計)の設定について

時刻(カレンダー機能)の設定をすることで、本機内の時計をファイルの作成、変更した日時の記録などに使用できます。

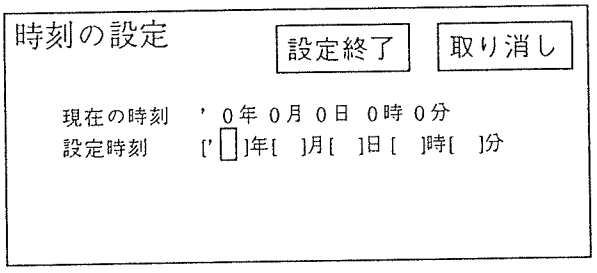
①




① 「時刻の設定」の項目番号 5 をタッチします。

「時刻の設定」メニューを表示します。

②

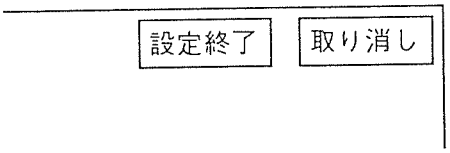



② 現在時刻を西暦の下2ケタで入力します。

[ '93 ]年[ 4 ]月[ 15 ]日 [ 19 ]時[ 9 ]分

↓ 西暦の下2桁　　↓ 24時間制

③




③ 画面右上に「設定終了」キーと「取り消し」キーがあります。
「設定終了」をタッチすると設定内容を記憶します。
「取り消し」は設定をやり直したい時に押します。

●このマニュアルに使われている用紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しております。
●この印刷物は環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。

古紙配合率100%再生紙を使用しています　大豆油を主成分としたインキで印刷しています

●在庫・納期・価格など販売に関するお問い合わせは

●技術に関するお問い合わせは


制御機器コールセンター
0120-101-550
※お問い合せ商品 / リレー・機器用センサ・スイッチ・コネクタ・
プログラマブルコントローラ・プログラマブル表示器・
画像処理装置・タイマ・カウンタ・温度調節器
※サービス時間／9:00ー17:00（11:30ー13:00、当社休業日除く）
●FAX …… 06-6904-1573（24時間受付）

松下電工株式会社　制御機器本部
制御デバイス事業部
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
TEL.(06)6908-1131〈大代表〉




このマニュアルの記載内容は平成5年8月現在のものです。


■FAF-0004　Printed in Japan